【 改 定 】 滝川市公共下水道事業経営戦略(概要版)

1. 公共下水道事業経営戦略の改定について

- ・ 令和 2 年度 公共下水道事業経営戦略(以下、「経営戦略」という。)を策定
 - ⇒人□減少下においても、生活インフラとして安定的にサービスを提供することを目的として策定
- ・ 令和 4 年度 概ね5年に一回開催される滝川市営事業等調査審議会(以下、「審議会」と言う。)を開催 ⇒下水道使用料改定の必要性について諮問し、令和9年度まで使用料改定を行わないこととする答申を受理 ⇒令和8年度に予定する滝川市下水処理センター(以下「旧処理場」と言う。)の解体費用は、利益剰余金対応
- ・令和 5 年度 概ね5年に一回見直しする経営戦略も審議会の使用料算定期間に揃えるため改定 ⇒経営戦略策定後に起こった社会経済状況の変化(物価や人件費の高騰など)を反映し、令和 9 年度まで使用 料を維持するために必要となる事項をまとめるために改定

2.前回からの変更点

●使用料収入と下水道事業に要する経費

処理区域内人口が減少することに伴い、今後10年間で使用料収入が約1億円減少する一方、電気代や人件費などの高騰に伴う流域下水道管理費の増加や施設の老朽化など、下水道事業に要する経費※の増加は不可避

- ●投資計画(整備事業費)
- 目標:①令和 12 年度まで合流改善事業の進捗率(管路整備)100%、②重要幹線(約 90km)などのカメラ調査完了 今後の整備事業費(事務費を含む)を400,000 千円から 300,000 千円以内に平準化し、資本費(利息と減価償却費)を抑制

3. 今後の収支見込

目標: 次期算定期間(令和10~14年度)総額における経費回収率100%の維持、②流動比率100%の維持

現 金	1,308,209	1,261,849	1,242,069	890,594	769,061	653,679	548,834	443,071	375,917	379,983
流動比率	188.6%	194.3%	190.9%	133.7%	123.4%	109.4%	98.2%	89.5%	89.7%	102.5%
_										
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
経費回収率(単年)	R5 105.0%			R8 100.0%		R10 100.0%		R12 100.0%	R13 100.0%	R14 100.0%

※流動比率・・・・・短期的な債務に対する支払能力を表す指標

⇒国庫補助交付要件をクリアし、合流改善や老朽施設の更新事業が補助事業として継続可能となる!

4. 予定するスケジュール

- 経費回収率向上に向けたロードマップ
- ・ 5 年ごとの算定期間にて、使用料改定の必要性について検討を継続する

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
計画期間(改定後)											
使用料算定期間		令和4年度の審議会における算定期間					令和8~9年度の審議会における算定期間				
使用料の検討	審議会				審議会					審議会	
経営戦略見直し		0				0					0